

単元の指導計画(1) (8時間完了)

単元名 1年「作品の紹介文を書こう」(「野原はうたう」工藤直子/光村図書)

(1) 単元の目標

知: 知識・技能 思: 思考・判断・表現 態: 主体的に学習に取り組む態度

知	作品のよさを伝える工夫について理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、作品のよさを伝える工夫についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話): 話すこと・聞くこと (書): 書くこと (読): 読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(作品の紹介文を書く)を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「作品のよさを伝える工夫」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、擬人法や倒置法などの表現技法の効果や詩の構成の工夫について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、擬人法や倒置法などの表現技法の効果や詩の構成の工夫を捉え、作品のよさを伝える工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、擬人法や倒置法などの表現技法の効果や詩の構成の工夫を捉え、作品のよさを伝える工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	②	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、擬人法や倒置法などの表現技法の効果や詩の構成の工夫のいずれかについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、擬人法や倒置法などの表現技法の効果や詩の構成の工夫のいずれかについて捉え、作品のよさを伝える工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で擬人法や倒置法などの表現技法の効果や詩の構成の工夫のいずれかについて捉え、作品のよさを伝える工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		読みの交流 ○ 作品のよさについての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「作品のよさを伝える工夫」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	③				

		<p>読みのまとめ</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M</p> <p>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「作品のよさを伝える工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。RM</p>	④	<p>方法</p> <p>・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容</p>	
<p>考えを基に表現する場</p>	<p>拡散的思考を働かせる場面</p>	<p>下書き</p> <p>○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。拡M</p> <p>○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、作品の紹介文の「下書き」をする。拡M</p>	⑤	A	<p>○ 「意見交流」や詩の紹介文の推敲を通して、擬人法や倒置法などの表現技法の効果や詩の構成の工夫について理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」や詩の紹介文の推敲を通して、擬人法や倒置法などの表現技法の効果や詩の構成の工夫を用いて詩の紹介文を書いている。(書)</p>	<p>○ 「意見交流」や詩の紹介文の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の詩の紹介文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
		<p>意見交流</p> <p>○ 自分や他者の作品の紹介文の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。拡M</p> <p>○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。収M</p>	⑥	B	<p>○ 「意見交流」や詩の紹介文の推敲を通して、擬人法や倒置法などの表現技法の効果や詩の構成の工夫のいずれかについて理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」や詩の紹介文の推敲を通して、擬人法や倒置法などの表現技法の効果や詩の構成の工夫のいずれかについての工夫を用いて詩の紹介文を書いている。(書)</p>	<p>○ 「意見交流」や詩の紹介文の推敲を通して、自分の詩の紹介文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
	<p>収束的思考を働かせる場面</p>	<p>清書</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。収M</p> <p>○ 作品の紹介文の清書を行う。</p>	⑦	<p>方法</p> <p>・詩の紹介文 ・足跡シート</p>	<p>・詩の紹介文 ・足跡シート</p>	<p>・詩の紹介文 ・足跡シート</p>	
		<p>まとめの時間</p> <p>○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。拡・収RM</p>	⑧				

単元の指導計画(2) (10 時間完了)

単元名 1年「作品のタイトルを考えよう」(「花曇りの向こう」瀬尾まい子/光村図書)

(1) 単元の目標

知: 知識・技能 思: 思考・判断・表現 態: 主体的に学習に取り組む態度

知	情景描写から登場人物の心情を捉える方法について理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、登場人物の心情を表す方法についての自分の考えを形成し、登場人物の心情を踏まえた作品のタイトルを表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話): 話すこと・聞くこと (書): 書くこと (読): 読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(作品のタイトルを考えよう)を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「登場人物の心情を捉える方法」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、情景描写や象徴するものについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、情景描写や象徴するものについて捉え、登場人物の心情を表す方法についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、情景描写や象徴するものについて捉え、登場人物の心情を表す方法についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、情景描写や象徴するものについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、情景描写や象徴するものについて捉え、登場人物の心情を表す方法についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で情景描写や象徴するものについて捉え、登場人物の心情を表す方法についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		読みの交流1 ○ 中心人物の心情とその変化についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「中心人物の心情の変化」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	④					
		読みの交流2 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 M	⑤					

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「梅干しの意味」についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「作品を象徴するものの役割」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M 					
		<p>読みのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「登場人物の心情を表す方法」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。RM 	⑥	方法	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容
考えを基に表現する場	拡散的思考を働かせる場面	<p>下書き</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。拡M ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、別の作品のタイトルの「下書き」をする。拡M 	⑦	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や作品のタイトルの推敲を通して、情景描写や象徴するものについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や作品のタイトルの推敲を通して、情景描写や象徴するものを踏まえて作品のタイトルを書いている。(書) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や作品のタイトルの推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の原稿を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
		<p>意見交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分や他者のタイトルの下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。拡M ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。収M 	⑧	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や作品のタイトルの推敲を通して、情景描写や象徴するもののいずれかについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や作品のタイトルの推敲を通して、情景描写や象徴するもののいずれか踏まえて作品のタイトルを書いている。(書) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や作品のタイトルの推敲を通して、自分の原稿を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	収束的思考を働かせる場面	<p>清書</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。収M ○ 作品のタイトルの清書を行う。 	⑨	方法	<ul style="list-style-type: none"> ・作品のタイトル ・足跡シート 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品のタイトル ・足跡シート 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品のタイトル ・足跡シート

	まとめの時間 ○ 足跡シートを記入し、 単元でどのような知識 を身に付けたか、単元 の学習過程や思考方 法について振り返る。 拡・収RM	⑩			
--	--	---	--	--	--

単元の指導計画(3) (10 時間完了)

単元名 1年「自己紹介スピーチをしよう」(「話し方はどうかな」川上裕之/東京書籍)

(1) 単元の目標

知: 知識・技能 思: 思考・判断・表現 態: 主体的に学習に取り組む態度

知	伝えたいことを明確に伝える工夫について理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、伝えたいことを明確に伝える工夫について自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話): 話すこと・聞くこと (書): 書くこと (読): 読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(自己紹介スピーチをする)を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「伝えたいことを明確に伝える工夫」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、速度や声量、強弱や構成など自分の伝えたいことを明確にする話し方について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、速度や声量、強弱や構成など自分の伝えたいことを明確にする話し方についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、速度や声量、強弱や構成など自分の伝えたいことを明確にする話し方についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、速度や声量、強弱や構成など自分の伝えたいことを明確にする話し方のいずれかについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、速度や声量、強弱や構成など自分の伝えたいことを明確にする話し方のいずれかについての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、速度や声量、強弱や構成など自分の伝えたいことを明確にする話し方のいずれかについての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		読みの交流 ○ 分かりやすい魅力的な話し方についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「伝えたいことを明確に伝える工夫」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 M	④ ⑤				

		<p>読みのまとめ</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M</p> <p>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「伝えたいことを明確に伝える工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。RM</p>	⑥	<p>方法</p> <p>・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート)</p>	<p>・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容</p>	
<p>考えを基に表現する場</p>	<p>拡散的思考を働かせる場面</p>	<p>下書き</p> <p>○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。拡M</p> <p>○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、スピーチ台本の「下書き」をする。拡M</p>	⑦	A	<p>○ 「意見交流」やスピーチ台本の推敲を通して、速度や声量、強弱や構成など自分の伝えたいことを明確にする話し方について理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」やスピーチ台本の推敲を通して、速度や声量、強弱や構成など自分の伝えたいことを明確にする話し方を用いてスピーチ台本を書いたり、話したりしている。(話)</p>	<p>○ 「意見交流」やスピーチ台本の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分のスピーチ台本を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
		<p>意見交流</p> <p>○ 自分や他者のスピーチ台本の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。拡M</p> <p>○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。収M</p>	⑧	B	<p>○ 「意見交流」やスピーチ台本の推敲を通して、速度や声量、強弱や構成など自分の伝えたいことを明確にする話し方のいずれかについて理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」やスピーチ台本の推敲を通して、速度や声量、強弱や構成など自分の伝えたいことを明確にする話し方のいずれかを用いてスピーチ台本を書いたり、話したりしている。(話)</p>	<p>○ 「意見交流」やスピーチ台本の推敲を通して、自分のスピーチ台本を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
	<p>収束的思考を働かせる場面</p>	<p>清書</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。収M</p> <p>○ スピーチ台本の清書を行う。</p> <p>○ スピーチを行う。</p>	⑨	<p>方法</p> <p>・スピーチ台本 ・足跡シート</p>	<p>・スピーチ台本 ・足跡シート</p>	<p>・スピーチ台本 ・足跡シート</p>	
		<p>まとめの時間</p> <p>○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。拡・収RM</p>	⑩				

単元の指導計画(4) (10 時間完了)

単元名 1年「説明文を書こう」(「ちょっと立ち止まって」桑原茂夫/光村図書)

(1) 単元の目標

知: 知識・技能 思: 思考・判断・表現 態: 主体的に学習に取り組む態度

知	読み手の共感を集めるための工夫について理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、読み手の共感を集めるための工夫について自分の考えを形成し、根拠を明確にして構成することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話): 話すこと・聞くこと (書): 書くこと (読): 読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・構成	主体的に学習に取り組む態度	
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(説明文を書く)を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「読み手の共感を集めるための工夫」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、事実と意見との関係や文章構成が与える効果について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、事実と意見との関係や文章構成が与える効果を抑え、読み手の共感を集めるための工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、事実と意見との関係や文章構成が与える効果を抑え、読み手の共感を集めるための工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を抑えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて抑え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、事実と意見との関係や文章構成のいずれかが与える効果について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、事実と意見との関係や文章構成が与える効果のいずれかを抑え、読み手の共感を集めるための工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で事実と考えとの関係や文章構成が与える効果のいずれかを抑え、読み手の共感を集めるための工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		読みの交流1 ○ 作品の目的についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で抑えた「この作品の目的」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	④					
		読みの交流2 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 M ○ 文章表現と文章構成	⑤					

		<p>についての「読みの交流」を行う。</p> <p>○ 「読みの交流」で捉えた「読み手の共感を集めるための工夫」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M</p>					
		<p>読みのまとめ</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M</p> <p>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「読み手の共感を集めるための工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。RM</p>	⑥	<p>方法</p> <p>・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート)</p>	<p>・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容</p>	
<p>考えを基に表現する場</p>	<p>拡散的思考を働かせる場面</p>	<p>下書き</p> <p>○ 構成の際に生かしたい知識を足跡シートに記入し、知識を基に構成できているか確認する。拡M</p> <p>○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、説明文の「下書き」をする。拡M</p>	⑦	A	<p>○ 「意見交流」や説明文の推敲を通して、事実と意見との関係や文章構成が与える効果について理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」や説明文の推敲を通して、事実と意見との関係や文章構成が与える効果を用いて説明文を書いている。(書)</p>	<p>○ 「意見交流」や説明文の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の見出しを見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
		<p>意見交流</p> <p>○ 自分や他者の説明文の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な構成について考え、必要に応じて構成し直す。拡M</p> <p>○ 「意見交流」を通して、より適切な構成の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。収M</p>	⑧	B	<p>○ 「意見交流」や説明文の推敲を通して、事実と意見との関係や文章構成が与える効果のいずれかについて理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」や説明文の推敲を通して、事実と意見との関係や文章構成が与える効果のいずれかを用いて説明文を書いている。(書)</p>	<p>○ 「意見交流」や説明文の推敲を通して、自分の見出しを見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
	<p>収束的思考を働かせる場面</p>	<p>清書</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを構成し直す。収M</p> <p>○ 説明文の清書を行う。</p>	⑨	<p>方法</p> <p>・説明文 ・足跡シート</p>	<p>・説明文 ・足跡シート</p>	<p>・説明文 ・足跡シート</p>	

	まとめの時間 ○ 足跡シートを記入し、 単元でどのような知識 を身に付けたか、単元 の学習過程や思考方 法について振り返る。 拡・収RM	⑩			
--	--	---	--	--	--

単元の指導計画（５）（８時間完了）

単元名 １年「詩を創作しよう」（詩の世界／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	感じたことや思いを伝える工夫について理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、感じたことや思いを伝える工夫についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（詩を創作する）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「感じたことや思いを伝える工夫」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、詩における比喩や倒置などの表現技法や言葉がもつイメージについて十分に理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、詩における比喩や倒置などの表現技法や言葉がもつイメージを捉え、感じたことや思いを伝える工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、詩における比喩や倒置などの表現技法や言葉がもつイメージを捉え、感じたことや思いを伝える工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	②	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、詩における比喩や倒置などの表現技法や言葉がもつイメージのいずれかについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、詩における比喩や倒置などの表現技法や言葉が持つイメージのいずれかを捉え、感じたことや思いを伝える工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で詩における比喩や倒置などの表現技法や言葉がもつイメージのいずれかを捉え、感じたことや思いを伝える工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		読みの交流 ○ 詩における自分の感じたことや思いの表し方についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「詩で自分の感じたことや思いを表すための工夫」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	③				

	<p>読みのまとめ</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M</p> <p>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「感じたことや思いを伝える工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。RM</p>	④	方法	<p>・付箋紙の記述内容</p> <p>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・付箋紙の記述内容</p> <p>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・ひとり読みシート</p> <p>・付箋紙の記述内容</p>
<p>考えを基に表現する場</p>	<p>下書き</p> <p>○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。拡M</p> <p>○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、詩の「下書き」をする。拡M</p>	⑤	A	<p>○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、詩における比喩や倒置などの表現技法や言葉がもつイメージについて理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、詩における比喩や倒置などの表現技法や言葉がもつイメージを用いて見出しを書いている。(書)</p>	<p>○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の詩を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
	<p>意見交流</p> <p>○ 自分や詩の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。拡M</p> <p>○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。収M</p>	⑥	B	<p>○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、詩における比喩や倒置などの表現技法や言葉がもつイメージのいずれかについて理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、詩における比喩や倒置などの表現技法や言葉がもつイメージのいずれかを用いて見出しを書いている。(書)</p>	<p>○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、自分の詩を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
	<p>清書</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。収M</p> <p>○ 詩の清書を行う。</p>	⑦	方法	<p>・詩</p> <p>・足跡シート</p>	<p>・詩</p> <p>・足跡シート</p>	<p>・詩</p> <p>・足跡シート</p>
	<p>まとめの時間</p> <p>○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。拡・収RM</p>	⑧				

単元の指導計画（6）（12時間完了）

単元名 1年「自分の心情を豊かに表現しよう」（「星の花が降るころに」安東みきえ／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	比喩表現や情景描写、象徴的な表現など心情を表す文章表現の文脈上の意味を理解することができる。
思	比喩表現や情景描写、象徴的な表現など心情を表す文章表現の文脈上の意味についての自分の考えを形成し、文脈にふさわしい言葉を適切に用いて表現することができる。
態	「読みの交流」や「意見交流」に意欲的に参加し、友達のを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（自分の心情を豊かに表現する）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「登場人物の心情」を捉えるための既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、登場人物同士の関係を表す描写や比喩や情景描写などの心情を表す文章表現や物語を象徴する部分や文について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、登場人物同士の関係を表す描写や比喩や情景描写などの心情を表す文章表現や物語を象徴する部分や文を捉え、心情を豊かに表現するための自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、登場人物同士の関係を表す描写や比喩や情景描写などの心情を表す文章表現や物語を象徴する部分や文を捉え、心情を豊かに表現するための自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達のを捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達のをと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、登場人物同士の関係を表す描写や比喩、情景描写などの心情を表す文章表現や物語を象徴する部分のいずれかについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、登場人物同士の関係を表す描写や比喩、情景描写などの心情を表す文章表現や物語を象徴する部分のいずれかを捉え、心情を豊かに表現するための自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で登場人物同士の関係を表す描写や比喩、情景描写などの心情を表す文章表現や物語を象徴する部分のいずれかを捉え、心情を豊かに表現するための自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達のを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		読みの交流1 ○ 場面1の心情を表す描写についての「読みの交流」を行う。 ○ 場面1において印象に残った心情を表す描写についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	④					
		読みの交流2 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達のをと比較したり、関連付けたりする。M	⑤					

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場面2の心情を表す描写についての「読みの交流」を行う。 ○ 場面2において印象に残った心情を表す描写についての自分の考えを付箋紙に記述する。M 					
	<p>読みの交流3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 場面3の心情を表す描写についての「読みの交流」を行う。 ○ 場面3において印象に残った心情を表す描写についての自分の考えを付箋紙に記述する。M 	⑥				
	<p>読みのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 「足跡シート」に自分の考えをまとめ、「登場人物の心情を豊かに表現するための工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。RM 	⑦	方法	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容
考えを基に表現する場	<p>下書き</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現の際に生かした知識を「足跡シート」に記入し、知識を基に表現できているか確認する。拡M ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、文章の「下書き」をする。拡M 	⑧ ⑨	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や文章の推敲を通して、登場人物同士の関係を表す描写や比喻や情景描写などの心情を表す文章表現や象徴について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や文章の推敲を通して、登場人物同士の関係を表す描写や比喻や情景描写などの心情を表す文章表現や象徴を用いて清書を書いている。(書) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や文章の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の作品を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	<p>意見交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分や他者の文章の「下書き」について気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要 	⑩				

収束的思考を働かせる場面	に応じて表現し直す。 拡M ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。 収M				
		B	○ 「意見交流」や文章の推敲を通して、登場人物同士の関係を表す描写や比喩、情景描写などの心情を表す文章表現や象徴のいずれかについて理解している。	○ 「意見交流」や文章の推敲を通して、登場人物同士の関係を表す描写や比喩、情景描写などの心情を表す文章表現や象徴のいずれかを用いて清書を書いている。(書)	○ 「意見交流」や文章の推敲を通して、作品を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	清書 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。 収M ○ 文章の「清書」を行う。	⑪	方法	・清書 ・足跡シート	・清書 ・足跡シート
まとめの時間 ○ 「足跡シート」を記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。 拡・収RM	⑫				

単元の指導計画（7）（10 時間完了）

単元名 1年「竹取物語の魅力伝えよう」（蓬萊の玉の枝『竹取物語』／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	古人のものの見方・考え方について理解し、自分のものの見方・考え方を広げることができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、古人のものの見方・考え方についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（意見文「竹取物語が千年以上も語り継がれてきたわけ」を書く）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「古人のものの見方・考え方」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、古文の仮名遣い、言葉遣いや、古語の意味について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、古文の仮名遣い、言葉遣いや、古語の意味を捉え、古人のものの見方・考え方についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、古文の仮名遣い、言葉遣いや、古語の意味を捉え、古人のものの見方・考え方についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、古文の仮名遣い、言葉遣いや、古語の意味のいずれかについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、古文の仮名遣い、言葉遣いや、古語の意味のいずれかを捉え、古人のものの見方・考え方についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で古文の仮名遣い、言葉遣いや、古語の意味のいずれかを捉え、古人のものの見方・考え方についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		読みの交流1 ○ 五人の貴公子についての「読みの交流」を行う。 ○ 「五人の貴公子の行動で共感できるところ」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 M	④				

	<p>読みの交流2</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M</p> <p>○ 帝の行動についての「読みの交流」を行う。</p> <p>○ 「竹取物語から分かる、現代と古代のものの見方・考え方の相違点と共通点」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M</p>	⑤				
	<p>読みのまとめ</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M</p> <p>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「古人のものの見方・考え方」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。RM</p>	⑥	方法	<p>・付箋紙の記述内容</p> <p>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・付箋紙の記述内容</p> <p>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・ひとり読みシート</p> <p>・付箋紙の記述内容</p>
考えを基に表現する場	<p>下書き</p> <p>○ 表現の際に生かしたい知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。拡M</p> <p>○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、意見文の「下書き」をする。拡M</p>	⑦	A	<p>○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、古文の仮名遣い、言葉遣いや、古語の意味について理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、現代と昔のものの見方や考え方の共通点を関わらせ、意見文を書いている。(書)</p>	<p>○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の意見文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
	<p>意見交流</p> <p>○ 自分や他者の意見文の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。拡M</p> <p>○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。収M</p> <p>清書</p>	⑧	B	<p>○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、古文の仮名遣い、言葉遣いや、古語の意味のいずれかについて理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、古人のものの見方・考え方についての自分の考えを用いて意見文を書いている。(書)</p>	<p>○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、自分の意見文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>

思考を働かせる場面	<p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。収M</p> <p>○ 意見文の清書を行う。</p>	⑨	方法 ・意見文 ・足跡シート	・意見文 ・足跡シート	・意見文 ・足跡シート
	<p>まとめの時間</p> <p>○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。拡・収RM</p>	⑩			

単元の指導計画（８）（10 時間完了）

単元名 1年「言葉で魅力を伝えよう」（「ニュースの見方を考えよう」池上 彰／東京書籍）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	相手に興味をもたせるための情報の選び方や使い方について理解し、相手に興味をもたせることができるように適切に言葉を用いることができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、相手に興味をもたせるための工夫についての自分の考えを形成し言葉を適切に用いて表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（ニュース原稿を書く）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「相手に興味をもたせるための工夫」についての既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、相手に興味をもたせるための情報の選び方や使い方について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、情報の選び方と使い方について捉え、相手に興味をもたせるための情報の選び方や使い方の工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、情報の選び方と使い方について捉え、相手に興味をもたせるための情報の選び方や使い方の工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、相手に興味をもたせるための情報の選び方や使い方のいずれかについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、情報の選び方や使い方のいずれかについて捉え、相手に興味をもたせるための情報の選び方や使い方の工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で情報の選び方や使い方のいずれかについて捉え、相手に興味をもたせるための情報の選び方や使い方の工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		読みの交流1 ○ 情報の選び方についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「相手に興味をもたせるための情報の選び方」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	④				

	<p>読みの交流2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 情報の用い方についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「相手に興味をもたせるための情報の用い方」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M 	⑤				
	<p>読みのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「相手に興味をもたせるための工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。RM 	⑥	方法	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容
考えを基に表現する場	<p>下書き</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。拡M ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、ニュース原稿の「下書き」をする。拡M 	⑦	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やニュース原稿の推敲を通して、相手に興味をもたせるための情報の選び方や用い方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やニュース原稿の推敲を通して、相手に興味をもたせるための情報の選び方や用い方の工夫を用いてニュース原稿を書いている。(書) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やニュース原稿の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の原稿を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	<p>意見交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分や他者のニュース原稿の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。拡M ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。収M 	⑧	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やニュース原稿の推敲を通して、相手に興味をもたせるための情報の選び方や用い方のいずれかについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やニュース原稿の推敲を通して、相手に興味をもたせるための情報の選び方や用い方のいずれかの工夫を用いてニュース原稿を書いている。(書) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やニュース原稿の推敲を通して、自分の原稿を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
収束的	<p>清書</p>					

思考を働かせる場面	<p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。収M</p> <p>○ ニュース原稿の清書を行う。</p>	⑨	方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュース原稿 ・足跡シート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュース原稿 ・足跡シート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュース原稿 ・足跡シート
	<p>まとめの時間</p> <p>○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。拡・収RM</p>	⑩				

単元の指導計画（9）（10時間完了）

単元名 1年「分かりやすいレポートを書こう」（「シカの『落ち穂拾い』」辻 大和／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	事実と考えとの関係や図表やグラフとその効果について理解し、考えを分かりやすく伝えることができるように適切に言葉を用いることができる。
思	「考えを分かりやすく伝えるためのレポートを書こう」というテーマについて、事実と考えとの関係についての文章構成を工夫したり、適切な図表やグラフを用いたりして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（考えを分かりやすく伝えるためのレポートを書く）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「考えを分かりやすく伝えるための工夫」についての既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、事実と考えとの関係や図表やグラフとその効果について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、事実と考えとの関係や図表やグラフとその効果について捉え、考えを分かりやすく伝えるための文章構成や図表やグラフの工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、事実と考えとの関係や図表やグラフとその効果について捉え、考えを分かりやすく伝えるための文章構成や図表やグラフの工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 筆者の考えを分かりやすく伝えるための工夫について捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、事実と考えとの関係や図表、グラフとその効果のいずれかについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、事実と考えとの関係や図表、グラフとその効果のいずれかについて捉え、考えを分かりやすく伝えるための文章構成か図表やグラフの工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、事実と考えとの関係や図表、グラフとその効果のいずれかについて捉え、考えを分かりやすく伝えるための文章構成や図表かグラフの工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		読みの交流1 ○ 事実と筆者の考えとの関係についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「考えをわかりやすく伝えるための事実と筆者の考えについての工夫」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	④				

	<p>読みの交流2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 図表やグラフとその効果についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「考えを分かりやすく伝えるための図表やグラフの使い方」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M 	⑤				
	<p>読みのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「考えを分かりやすく伝えるための工夫」についてどのような知識を身に付けたかを振り返る。RM 	⑥	方法	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容
考えを基に表現する場	<p>下書き</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。拡M ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、レポートの「下書き」をする。拡M 	⑦	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やレポートの推敲を通して、考えを分かりやすく伝えるための事実と考えとの関係や図表やグラフとその効果について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やレポートの推敲を通して、考えを分かりやすく伝えるための文章構成や図表やグラフの工夫を用いてレポートを書いている。(書) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やレポートの推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の原稿を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	<p>意見交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分や他者のレポートの下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。拡M ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。収M <p>清書</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまと 	⑧	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やレポートの推敲を通して、考えを分かりやすく伝えるための事実と考えとの関係や図表、グラフとその効果のいずれかについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やレポートの推敲を通して、考えを分かりやすく伝えるための文章構成や図表、グラフの工夫のいずれかを用いてレポートを書いている。(書) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やレポートの推敲を通して、自分の原稿を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	<p>収束的思考</p>					

	を働かせる場面	めた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。 収M ○ レポートの清書を行う。	⑨	方法	・レポート ・足跡シート	・レポート ・足跡シート	・レポート ・足跡シート
		まとめの時間 ○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。 拡・収RM	⑩				

単元の指導計画（10）（8時間完了）

単元名 1年「故事成語を用いた体験文を書こう」（「今に生きる言葉～故事成語～」／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	故事成語を用いて考えを分かりやすく表す工夫について理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、故事成語を用いて考えを分かりやすく表す工夫についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達のことを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（故事成語を用いた体験文を書く）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「ことわざや四字熟語などが表す意味」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、漢文の知識や他の古典作品との違いや古人のものの見方・考え方について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、漢文の知識や他の古典作品との違いや古人のものの見方・考え方を捉え、故事成語を用いて考えを分かりやすく表す工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、漢文の知識や他の古典作品との違いや古人のものの見方・考え方を捉え、故事成語を用いて考えを分かりやすく表す工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	②	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、漢文の知識や他の古典作品との違いや古人のものの見方・考え方のいずれかについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、漢文の知識や他の古典作品との違いや古人のものの見方・考え方のいずれかを捉え、故事成語を用いて考えを分かりやすく表す工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で漢文の知識や他の古典作品との違いや古人のものの見方・考え方のいずれかを捉え、故事成語を用いて考えを分かりやすく表す工夫についての自分の考えを形成しようとしている。
		読みの交流 ○ 「矛盾」における漢文の知識と古人のものの見方・考え方についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「古人のものの見方・考え方」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	③				○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。

		読みのまとめ ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 M ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「故事成語を用いて考えを分かりやすく表す工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。 RM	④				
		方法 ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容			
考えを基に表現する場	拡散的思考を働かせる場面	下書き ○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。 拡M ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、体験文の「下書き」をする。 拡M	⑤	A	○ 「意見交流」や体験文の推敲を通して、漢文の知識や他の古典作品との違いや古人のものの見方・考え方について理解している。	○ 「意見交流」や体験文の推敲を通して、漢文の知識や他の古典作品との違いや古人のものの見方・考え方を用いて体験文を書いている。(書)	○ 「意見交流」や体験文の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の体験文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
		意見交流 ○ 自分や他者の体験文の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。 拡M ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。 収M	⑥	B	○ 「意見交流」や体験文の推敲を通して、漢文の知識や他の古典作品との違いや古人のものの見方・考え方のいずれかについて理解している。	○ 「意見交流」や体験文の推敲を通して、漢文の知識や他の古典作品との違いや古人のものの見方・考え方のいずれかを用いて体験文を書いている。(書)	○ 「意見交流」や体験文の推敲を通して、自分の体験文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
		清書 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。 収M ○ 体験文の清書を行う。	⑦	方法 ・体験文 ・足跡シート	・体験文 ・足跡シート	・体験文 ・足跡シート	
	収束的思考を働かせる場面						

	まとめの時間 ○ 足跡シートを記入し、 単元でどのような知識 を身に付けたか、単元 の学習過程や思考方 法について振り返る。 拡・収RM	⑧			
--	--	---	--	--	--

単元の指導計画（11）（11 時間完了）

単元名 1年「作品をリライトしよう」

（「少年の日の思い出」ヘルマン・ヘッセ 高橋 健二 訳／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	自分の考えを分かりやすく伝える工夫について理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、自分の考えを分かりやすく伝える工夫についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（作品をリライトする）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「自分の考えを分かりやすく伝える工夫」について既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、中心人物の心情を表す文章表現や対比人物の表され方や文章構成の工夫について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、中心人物の心情を表す文章表現や対比人物の表され方や文章構成の工夫について捉え、自分の考えを分かりやすく伝えるための工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、中心人物の心情を表す文章表現や対比人物の表され方や文章構成の工夫について捉え、自分の考えをわかりやすく伝えるための工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、中心人物の心情を表す文章表現や対比人物の表され方や文章構成の工夫のいずれかについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、中心人物の心情を表す文章表現や対比人物の表され方や文章構成の工夫のいずれかについて捉え、自分の考えを分かりやすく伝えるための工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で中心人物の心情を表す文章表現や対比人物の表され方や文章構成の工夫のいずれかについて捉え、自分の考えを分かりやすく伝えるための工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		読みの交流1 ○ 中心人物の心情の変化についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「中心人物の心情の変化」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	④					
		読みの交流2 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。	⑤					

		<p>M</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対比人物の心情の変化についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「対比人物はどのような人物か」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M 				
		<p>読みの交流3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 文章構成の工夫についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「前半部分が存在する効果」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 	⑥			
		<p>読みのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「自分の考えを分かりやすく伝える工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。R <p>M</p>	⑦	<p>方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容
考えを基に表現する場	<p>拡散的思考を働かせる場面</p>	<p>下書き</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。拡M ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、作品のリライト文の「下書き」をする。拡M 	⑧	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やリライト文の推敲を通して、中心人物の心情を表す文章表現や対比人物の表され方や文章構成の工夫について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やリライト文の推敲を通して、中心人物の心情を表す文章表現や対比人物の表され方や文章構成の工夫を用いてリライト文を書いている。(書) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」やリライト文の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分のリライト文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。

収束的思考を働かせる場面	意見交流 ○ 自分や他者のリライト文の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。 拡M ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。 収M	⑨				
	清書 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。 収M ○ 作品のリライト文の清書を行う。	⑩	B	○ 「意見交流」やリライト文の見出しの推敲を通して、中心人物の心情を表す文章表現や対比人物の表され方や文章構成の工夫のいずれかについて理解している。	○ 「意見交流」やリライト文の推敲を通して、中心人物の心情を表す文章表現や対比人物の表され方や文章構成の工夫のいずれかを用いてリライト文を書いている。(書)	○ 「意見交流」やリライト文の推敲を通して、自分のリライト文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	まとめの時間 ○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。 拡・収RM	⑪	方法	・リライト文 ・足跡シート	・リライト文 ・足跡シート	・リライト文 ・足跡シート